

(9) シクラメン

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1.罹病葉、罹病花は早目に除去する。 2.通風、換気を良好にする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1.フルピカフロアブルは開花中に花卉に薬液が付着すると薬害を生じる場合があるので、開花期以降の散布は避ける。	発病初期	1 9 19 —	トップジンM水和剤 フルピカフロアブル ポリオキシソール水溶剤
2 葉腐細菌病 <i>Pantoea agglomerans</i>	1.無病株から採種する。 2.使用後の資材はよく洗浄する。 3.病葉や病花などは放置せずに圃場外で処分する	鉢上げ時	M1 41・25	キノンドー一粒剤 (混)アグリマイシン-100
		発病初期 (葉柄基部散布)	M1 M1 M1	キノンドー水和剤40 キノンドー水和剤80 キノンドーフロアブル
3 苗立枯病 <i>Rhizoctonia solani</i>	1.排水を図り、被害株は早めに処分する。	播種前	M3・1	(混)ホーマイ水和剤
		定植時	14	リゾレックス粉剤
4 萎凋病 <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>cyclaminis</i>	1.培土は無病のものを使用する。 2.育苗箱や植木鉢はよく洗浄する。 3.発病して枯死した株の鉢はそのまま放置しないで直ちに処分する。			
5 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1.使用する用土や鉢を蒸気などにより、消毒する。 2.灌水中に使用する水は、細菌に汚染されているようなものは避ける。	発生初期	25・M1	(混)ドーマイシン水和剤
6 炭疽病 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i>	1.枯死葉は早期に取り除き、圃場外に持ち出して処分する。 2.高温多湿条件で発生するので、盛夏期には遮光し、換気する。 3.用土や培土は蒸気消毒する。 4.発病株からの採種は行わない。 〈薬剤使用の特記事項〉 1.ヘルシード乳剤は施設栽培でのみ使用する。	発病初期	3 M1 M1 M3	ヘルシード乳剤 キノンドーフロアブル オキシンドー水和剤80 ジマンダイセン水和剤
7 オンシツコナジラミ	1.苗による持込みに注意する。 2.ハウスの開口部に防虫ネット(1mm目合以下)をはり、成虫の飛来を軽減する。 3.圃場内及び周辺の雑草処理を徹底する。 4.被害植物や雑草は除去後に土中に埋没するか、ビニール等で密封し、半月程度放置する。 5.栽培休止期に施設を密封し、ハウス内温度が50℃にまで達すれば、コナジラミ類を死滅させることができる。 6.侵入防止対策のとれているハウスでは、黄色粘着トラップを吊すことにより、密度を下げるができる。			
8 ミカンキイロアザミウマ	1.外部から苗を購入する際には虫の有無に注意する。 2.ハウスの開口部に防虫ネット(1mm目合以下)をはり、成虫の飛来を軽減する。 3.被害植物や雑草は除去後に土中に埋没するか、ビニール等で密封し、半月程度放置する。 4.圃場周辺の雑草処理を徹底する。 5.侵入防止対策を実施しているハウスでは、青色粘着トラップを吊すことにより、密度を下げるができる。 〈薬剤使用の特記事項〉 1.密度が高くなると防除効果が劣るので、低密度時の散布を心がける。 2.開花後は密度が急増するので注意する。	発生初期	14 14	パダンSG水溶剤 エビセクト水和剤
9 キンケクチブトゾウムシ	1.圃場周辺の雑草を除草する。 2.侵入防止のため、施設開口部に防虫ネット(1mm目合以下)をはる。 〈薬剤使用の特記事項〉 1.トクチオン乳剤は成虫に、ガゼット粒剤は幼虫に登録がある。	発生初期	1A 1B	ガゼット粒剤 トクチオン乳剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する